

# 2020年10月12日 金属産業新聞(5面)に掲載されました

アルミニウム+鉄+銅の接合の一例



## 「地域経済牽引事業計画」が承認

### 日東精工「AKROSE」関連事業で

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)は、地域経済活性化に貢献する事業計画を支援する取り組みである「地域経済牽引事業」に、異種金属接合技術「AKROSE」および「AKROSE H Y社」を置いており、経済産業省近畿経済産業局からは地域の取引関係の中核を担う「コネクターハブ企業」としても評価された。

同社は1000年に地域の産業振興と雇用創出を目的と

として創業。現在もその精神を引き継ぎ創業の地・綾部に本社を置いており、経済産業省近畿経済産業局からは地域の取引関係の中核を担う「コネクターハブ企業」としても評価された。

同社は1000年に地域の産業振興と雇用創出を目的と

地域経済牽引事業とは、地域未来投資促進法に基づき経済産業省が主導する、地域の特性を活かした経済活性化を目的とする取り組み。各地域において基本計画が策定されているが、同社は中丹地域の金

属製品製造業、食料品製造業等の集積を活用した成長ものづくり分野」の成長戦略に基づき当該事業を申請して、京都府より承認された。

異種金属接合技術「AKROSE」は、同社が2018年に開発。冷間圧造技術により複数の金属を接合して強度とともに複雑形状を実現する。「AKROSE H Y B RID」は「AKROSE」で接合した部品に材料に適した条件で熱処理を加えることで、接合界面の密着性を原子レベルにまで向上する技術。